

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時50分41秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00327	福祉保健サービス苦情処理事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	福祉サービス利用者への支援							
予算事業	10230	01	03	01	01	03	01	01	福祉保健サービス苦情処理事業（社会福祉総務費）
所属長	新戸 明宏			担当者（内線）白石（内線2517）					
根拠法令等	吹田市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例								
事業開始年度	平成12年度	直近の改正			平成27年度				
改正内容	行政不服審査法の全部改正に伴う引用する行政不服審査法の規定に係る整備								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	福祉保健サービスを利用している人や、申請をしても利用できなかった人		
目標	市が行った福祉保健サービスに係る市民の苦情を公平かつ中立的な立場で簡易迅速に処理します。		
結果	市民の権利利益を擁護し、もって公正で信頼される市政を推進します。		
事業概要	市が行った福祉保健サービスの内容に対する苦情や、申請をしても利用できなかった等の苦情申立てを、福祉オンブズパーソンが公正・中立な立場で苦情内容を調査・審査し、必要と認めるときには市に対して是正するよう勧告したり、制度の改善について提言等を行います。苦情の申立ては、原則として書面で行い、福祉オンブズパーソンとの面談日は予約制で実施しています。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	120	0	120	0	120
人件費職員数(人)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	0	806	0	795
総事業費(A+B)	937	0	926	0	915
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	937	0	926	0	915
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	937	0	926	0	915
財源計(C+D)	937	0	926	0	915

所属	福祉総務課
事務事業番号	00327

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	申立件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	市民等が苦情等について申立てるものであり目標値の設定は困難です。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 この制度により、困っていることや、満足できないことを福祉オンブズパーソンに相談することができ、市民の福祉サービスを受ける権利利益が擁護されます。	達成状況 申立ては少ないが、より丁寧に説明するきっかけにもなっており、公正で信頼される市政の推進、市民の満足につながっています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切です。(吹田市福祉保健サービス苦情調整委員の報酬であり、市民からの申立てがあれば必要となるため)</p> <p>【今後の方向性】 市民の苦情対応窓口としては、市民総務室の公聴相談業務があり、介護保険制度についての苦情は大阪府国民健康保険団体連合会で対応しています。行政に対する権利利益の救済手段としては、行政不服審査法に基づく審査請求があり、苦情処理の仕組みは様々なものがありますが、吹田市福祉オンブズパーソン制度は、職員対応では処理が困難な苦情を公正・中立的な立場で処理することにより、市民の権利利益を擁護し、公正で信頼される市政の推進を目的としています。申立件数としては少ないが、必要な事業といえます。</p>

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	福祉保健サービス苦情処理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00327				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00327
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「(1)妥当性」の④については、本事業は市民の福祉保健サービスに係る苦情対応であり、市民ニーズの把握が難しいこと、
 「(2)有効性」の①については、本事業の目標の数値化は困難なため、定量的な指標を設定していないこと、「(3)効率性」の③については、本事業は市民の苦情を公正かつ中立的な立場で処理するため、他の事業と連携することはなじまないことから、1点としました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度末現在までの申立件数は、事業を開始した平成12年度が4件、13年度2件、15年度1件、17年度3件、18年度1件、21年度1件、24年度1件及び25年度3件の合計16件。平成29年度は、申立てまでに至らなかった相談が1件ありました。</p> <p>本来、苦情や不満はないほうがよく、申立件数は少数である。数値的な目標を掲げることは事業の趣旨からそぐわないものですが、職員対応では解決できない苦情を処理するためには重要な事業であり、「市民の苦情を処理し、納得、安心していただく」という目標に対しては、意義あるものといえます。</p> <p>迅速性としては、職員対応よりは苦情処理に時間を要するが、申立てから60日以内に通知等を行うことが規則で定められています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

(This section is currently empty in the provided image.)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時22分39秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00328	社会を明るくする運動事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実							
予算事業	10231	01	03	01	01	04	01	01	社会を明るくする運動事業（社会福祉総務費）
所属長	新栢 明宏				担当者（内線）小林（内線2512）				
根拠法令等	「社会を明るくする運動」吹田市実施要綱								
事業開始年度	昭和26年度	直近の改正	平成29年度						
改正内容	標語の変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	市民及び社会を明るくする運動吹田市実施委員会を構成する団体・機関	
目標	広報活動、駅頭啓発活動、市民集会や地域集会の開催等によって、犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生について市民の理解を深めます。	
結果	犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を構築します。	
事業概要	市と吹田地区保護司会、吹田防犯協議会など市内40団体で構成する「社会を明るくする運動」吹田市実施委員会が、7月を強調月間として、犯罪や非行の防止と罪を犯した人々への更生への理解について、市民への広報活動、市内各駅頭での啓発活動、市民集会や地域集会等を実施します。実施委員会は独自の会計で運営されており、市は実施委員会会計とは別に啓発用資材（標語パネル、啓発用ちらし等）の購入など経費の一部を支出しています。	
実施方法	■ 直接実施	
	□ 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
		主な委託内容
□ 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
□ その他	内容	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	519	461	513	381	499
人件費職員数(人)	0.40	0.40	0.30	0.30	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	2,416	2,416	3,178
総事業費(A+B)	3,787	3,621	2,929	2,797	3,677
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,787	3,621	2,929	2,797	3,677
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,787	3,621	2,929	2,797	3,677
財源計(C+D)	3,787	3,621	2,929	2,797	3,677

所属	福祉総務課
事務事業番号	00328

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各地域における地域集会開催件数	件	目標値	35.00	35.00	36.00
			実績値	22.00	23.00	
			達成度(%)	62.90	65.70	
目標値の積算方法	市内全地区で地域集会を開催	単位当たりコスト	総事業費(千円)	164.59	121.61	
			一般財源(千円)	164.59	121.61	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 市民集会、地域集会に多くの市民が参加し、各地域に標語パネルが掲示されます。	達成状況 毎年、各地域からの協力を得て実施することで、この運動の趣旨が市民に広く周知されています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費の評価】 社会を明るくする運動に関する取組の大部分は、市民や団体からのパネル協賛金・賛助金を原資に実施されています。本事業で支出する費用は、啓発品の購入、市民集会費用の一部のみで事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 全地区での地域集会実施が望ましいですが、現状でも多くの地区で関連団体が連携し更生保護をテーマに取り組んでいます。より多くの地区で地域集会が開催されるよう働きかけを継続します。</p> <p>【今後の方向性】 指標については、目標値をやや下回るが、事業費は適切であるため実施方法を検討し継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	社会を明るくする運動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00328				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00328
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

社会を明るくする運動吹田市実施委員会では、毎年、実施状況を振り返り、その反省点を翌年の取組に生かしています。平成29年度も、啓発パネルの購入や地域集会の開催について、構成団体・機関や各地域に協力を呼びかけました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>「社会を明るくする運動」について、本市では市内40の関連する団体・機関で構成された実施委員会を結成し、強調月間である7月を中心に各地区での地域集会の実施、様々な啓発活動などを行っています。また、運動に関する取組にかかる費用の多くは、市民や団体からのパネル協賛金・賛助金で賄われています。</p> <p>地域で更生保護に対する意識を高めるため、地域集会を開催する地区が増えるよう働きかけを継続する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

「社会を明るくする運動」は法務省が主唱する全国的な取組です。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時20分12秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00333	日常生活自立支援事業補助事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	福祉サービス利用者への支援							
予算事業	10239	01	03	01	01	05	01	01	日常生活自立支援事業補助事業（社会福祉総務費）
所属長	新戸 明宏			担当者（内線）小林（内線2512）					
根拠法令等	社会福祉法人に対する助成に関する条例・施行規則								
事業開始年度	平成12年度	直近の改正	平成26年度						
改正内容	助成内容の変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	府社協が実施する日常生活自立支援事業の一部について委託を受けている社会福祉法人		
目標	補助金を交付することにより、日常生活自立支援事業を安定して行い、かつ当該事業を継続して実施できるようにします。		
結果	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない人たちの福祉の向上につながります。		
事業概要	介護保険のもとでの福祉サービスは、自らがサービスを選択し契約することになりますが、認知症高齢者や知的障がい者など判断能力が十分でない者は、自らの判断で適切なサービスを受けることが困難な実情があります。そのため、地域で安心して生活できるよう（福）吹田市社会福祉協議会が行う福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを提供する日常生活自立支援事業について、事業に要する経費のうち市長が適当と認めるものの総額から（福）大阪府社会福祉協議会が支払う委託料、その他の助成対象事業に係る収入の額を控除した額の範囲内で補助しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		（福）吹田市社会福祉協議会	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	9,205	7,044	11,632	7,784	13,244
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	10,839	8,624	13,243	9,395	14,833
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	10,839	8,624	13,243	9,395	14,833
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,839	8,624	13,243	9,395	14,833
財源計(C+D)	10,839	8,624	13,243	9,395	14,833

所属	福祉総務課
事務事業番号	00333

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	(福)吹田市社会福祉協議会が府社協との委託契約に基づき、認知症高齢者、知的障がい者等を対象に福祉サービスの利用援助、日常的な金銭サービス等を提供する事業の経費の一部を補助します。	目標	日常生活自立支援事業が継続的に実施され、判断能力が十分でない要介護者が地域で安心して生活できるようになること。
成果内容	認知症や知的障がい等により判断能力が不十分な人のうち、100名程度の人が当該サービス等を利用して、地域で自立した生活を送ることが可能となっています。	達成状況	恒常的に契約待機者がいる状態ですが、専門員や生活支援員により、継続的に事業が実施されています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 事業費が増加していますが、事業の対象が認知症高齢者や精神障がい者など判断力が十分でない人等であることから、受益者負担を求めることが困難です。</p> <p>【事業の評価】 100名程度の利用者が当該サービスを利用することにより、地域で自立して生活を送ることが可能となっています。</p> <p>【今後の方向性】 事業費は増加していますが、当該サービスは利用者が住み慣れた地域で自立して生活するのに不可欠であることから、継続して支援することが妥当です。課題として、サービス利用待機者が発生しており、今後の対策が望まれます。</p>

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	日常生活自立支援事業補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00333				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	8	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		e. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00333
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業では、認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない人々を対象に、地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理などを行い、生活を支援しています。本事業の推進なくしては、対象となる市民の日常生活に大きな支障をもたらすことは想像に難くないため、今後も変わらぬ水準で本事業に取り組んでゆく必要があります。

また、地域において本事業を推進する(福)吹田市社会福祉協議会は社会福祉法に基づいて設置されており、本市内の各地域における地域福祉活動推進において中核的な役割を果たしています。本市としてその活動を支援することはきわめて重要であるため、今後も引き続き同事業を推進してまいります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>課題として、サービス利用待機者の解消が望まれます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時20分51秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00334	地域福祉計画推進事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実							
予算事業	10241	01	03	01	01	07	01	01	地域福祉計画推進事業（社会福祉総務費）
所属長	新柄 明宏			担当者（内線）小林（内線2512）					
根拠法令等	社会福祉法、吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例、吹田市地域福祉計画推進委員会規則								
事業開始年度	平成18年度	直近の改正			平成30年度				
改正内容	「我が事・丸ごと」の地域作り・包括的な支援体制の整備に向けて社会福祉法の一部改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民		
目標	いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり（第3次地域福祉計画の目標）		
結果	地域に住む誰もがいきいきと輝き、安心して暮らし続けられ、健康の保持・増進、社会的孤立の解消、安心安全な地域生活の実現を図ることができます。		
事業概要	地域福祉計画の策定・推進に関して調査審議を行うため、定期的に吹田市地域福祉計画推進委員会を開催します。地域福祉計画に関して市が行う施策の調整や進捗管理を行うため、庁内推進委員会を設置し計画を総合的かつ計画的に推進します。また、地域福祉市民プラットフォーム等を通じて市民が福祉に触れる機会を創出します。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	760	336	489	347	573
人件費職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	12,078	12,078	11,918
総事業費(A+B)	13,015	12,186	12,567	12,425	12,491
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	13,015	12,186	12,567	12,425	12,491
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,015	12,186	12,567	12,425	12,491
財源計(G+D)	13,015	12,186	12,567	12,425	12,491

所属	福祉総務課
事務事業番号	00334

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域フォーラムの参加人数		目標値	120.00	200.00	120.00
			実績値	90.00	92.00	
			達成度(%)	75.00	46.00	
目標値の積算方法	会場の定員	単位当たりコスト	総事業費(千円)	135.40	135.05	
			一般財源(千円)	135.40	135.05	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 事業費については、法定計画である地域福祉計画の策定・推進、地域福祉の増進に寄与する意識啓発に関する取組に係るもので、内容等についても精査しているため適切です。</p> <p>【事業の評価】 吹田市地域福祉計画推進委員会での計画の進行管理や、地域福祉市民フォーラムなど啓発活動の実施を通じて市民の福祉意識向上に寄与しています。</p> <p>【今後の方向性】 事業費は適切であり、今後も市民の自主的な地域福祉活動を活発化し、公民協働で市民一人ひとりの地域でのくらしを支える仕組みづくりを行っていくため、本事業を継続する必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	地域福祉計画推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00334				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

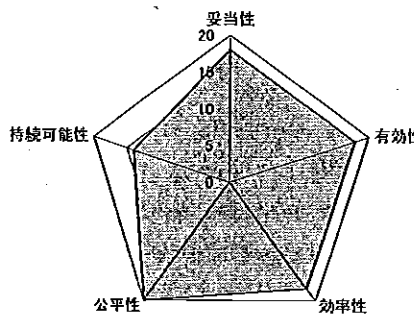
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00334
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

地域福祉市民フォーラムの開催をはじめとする、様々な地域福祉施策の取組を実施しており、事業の妥当性、公平性、持続可能性は一定程度、達成されていると考えます。平成28年4月から平成32年3月までを計画期間とする第3次吹田市地域福祉計画に沿って事業を進めることによって、より一層の地域福祉の増進を図ります。本事業に関連する取組については、成果を定量的に示すことが困難であることから、有効性・効率性等の評価手法については、地域福祉計画推進委員会などの意見を参考に今後検討を進める必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市地域福祉計画推進委員会の意見等を参考に第3次吹田市地域福祉計画の推進に取組んでいます。取組の一環として、毎年様々なテーマを設定し地域福祉市民フォーラムを開催しています。また、商業施設において普段福祉に触れる機会の少ない世代を対象とした啓発活動等も行いました。</p> <p>地域福祉推進のパートナーである吹田市社会福祉協議会及びコミュニティソーシャルワーカーの認知度向上のため、市報で特集記事を年2回掲載しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時21分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00335	地域支えあいネットワーク推進事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実							
予算事業	10242	01	03	01	01	08	01	01	地域支えあいネットワーク推進事業（社会福祉総務費）
所属長	新戸 明宏			担当者（内線）	小林（内線2512）				
根拠法令等	地域支えあいネットワーク推進事業実施要領								
事業開始年度	平成18年度	直近の改正	平成26年度						
改正内容	日常生活自立支援専門員の配置を削除								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民、団体		
目標	地域における要援護者に対する支援のためのネットワークを構築します。地域住民同士の交流を促進します。		
結果	地域福祉の推進が図られます。		
事業概要	コミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーターを配置し、地域における要援護者等の支援及び地域の総合相談を行うとともに、支援のためのネットワークを構築します。 財源の一部に大阪府地域福祉・子育て支援交付金を充てています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(福)吹田市社会福祉協議会
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		地域における支援のネットワーク構築
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	102,648	92,900	95,910	90,765	95,350
人件費職員数(人)	0.50	0.60	0.70	0.70	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	4,740	5,637	5,637	5,562
総事業費(A+B)	106,733	97,640	101,547	96,402	100,912
特定財源(C)	23,140	22,672	23,524	22,851	22,816
国	0	0	0	0	0
府	23,140	22,672	23,524	22,851	22,816
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	83,593	74,968	78,023	73,551	78,096
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	83,593	74,968	78,023	73,551	78,096
財源計(C+D)	106,733	97,640	101,547	96,402	100,912

所属	福祉総務課
専務事業番号	00335

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	実相談件数	件	目標値	0.00	420.00	420.00
			実績値	417.00	403.00	
			達成度(%)	0.00	96.00	
目標値の積算方法	前年度の実績を考慮し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	234.15	239.21	
			一般財源(千円)	179.78	182.51	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	相談件数のうち何らかの支援を行った件数の割合	%	目標値	0.00	100.00	100.00
			実績値	100.00	100.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	全ての事案に対応	単位当たりコスト	総事業費(千円)	976.40	964.02	
			一般財源(千円)	749.68	735.51	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 コミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーターについては、平成18年度から計画的に配置しており事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 実相談件数の増減はありますが、各相談について適切なサービス等につなげるよう、支援が行えているため事業成果は妥当です。</p> <p>【今後の方向性】 コミュニティソーシャルワーカーやボランティアコーディネーターは要援護者を支援し、地域での支えあいのネットワーク構築のため重要な役割を担っています。今後、より有効な連携体制を築くため、社会福祉協議会やコミュニティソーシャルワーカーの認知度の向上に取り組む必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	地域支えあいネットワーク推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00335				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00335
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>この事業は、地域福祉の推進を目的として策定された吹田市地域福祉計画に基づいて具体化されたものです。地域における住民同士の関係が希薄になる中、要援護者に対する総合相談や行政機関へのコーディネートなど様々な支援を行うコミュニティソーシャルワーカーが果たす役割は重要です。</p> <p>また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの提供を担うボランティアに対する支援を行うボランティアコーディネーターも、地域福祉の推進に欠かせないものです。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時21分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00336	災害時要援護者支援事業			
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり			
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり			
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実			
予算事業	10244	01	03	01 01 10 01 01	災害時要援護者支援事業（社会福祉総務費）
所属長	新浜 明宏		担当者（内線）吉田（内線2492）		
根拠法令等	災害対策基本法ほか				
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	平成25年度		
改正内容	避難行動要援護者名簿作成の義務化（災害対策基本法）				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	災害時における要援護者（自主避難が困難な高齢者や障がい者等）		
目標	災害時における要援護者について、計画的・組織的な安否確認と適切な避難支援のシステムを構築します。		
結果	高齢者や障がい者等の災害時要援護者が安心して生活できる地域ネットワークが構築されます。		
事業概要	<p>災害時に避難するために支援を必要とする災害時要援護者に対する支援体制の整備を行います。</p> <p>災害時要援護者の安否確認・避難誘導等の支援を行うネットワークの構築のため、災害時要援護者名簿を作成し、個人情報の提供に同意した要援護者情報を地域支援組織に提供します。</p> <p>災害発生後、避難所生活において特別な配慮を必要とする要援護者のための福祉避難所の指定等を行います。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	塚田印刷（株）
		委託先②	日本電気（株）関西支社
		委託先③	
	主な委託内容		①封入封緘業務②要援護者名簿システム改修
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,127	1,465	4,209	4,166	785
人件費職員数(人)	1.50	1.00	1.00	1.00	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	7,900	8,052	8,052	11,918
総事業費(A+B)	14,382	9,365	12,261	12,218	12,703
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	14,382	9,365	12,261	12,218	12,703
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	14,382	9,365	12,261	12,218	12,703
財源計(C+D)	14,382	9,365	12,261	12,218	12,703

所属	福祉総務課
事務事業番号	00336

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	協定を締結した地域支援組織数	団体	目標値	34.00	34.00	34.00
			実績値	0.00	5.00	
			達成度(%)	0.00	14.70	
目標値の積算方法	市内34地区(おもに小学校単位)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	2,443.60	
			一般財源(千円)	0.00	2,443.60	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	福祉避難所の指定施設数	施設数	目標値	35.00	35.00	33.00
			実績値	28.00	28.00	
			達成度(%)	80.00	80.00	
目標値の積算方法	指定済み28施設+目標5施設	単位当たりコスト	総事業費(千円)	334.46	436.36	
			一般財源(千円)	334.46	436.36	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域支援組織に対して名簿情報を提供している要援護者数	人	目標値	12,000.00	12,000.00	12,000.00
			実績値	0.00	2,109.00	
			達成度(%)	0.00	17.60	
目標値の積算方法	地域支援組織に名簿情報を提供することに同意した人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	5.79	
			一般財源(千円)	0.00	5.79	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	指定している福祉避難所収容人数	人	目標値	2,000.00	2,000.00	1,400.00
			実績値	1,125.00	1,125.00	
			達成度(%)	56.30	56.30	
目標値の積算方法	現在の収容人数1,125人+(平均収容人数約40人×指定目標5施設)(100未満の端数切上)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8.32	10.86	
			一般財源(千円)	8.32	10.86	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:平成29年度の事業費が増加しているのは、災害時要援護者名簿のシステム改修による一時的な増加であるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 事業成果はおおむね妥当だが、改善の余地がある。(1)活動指標①及び(2)成果指標①については、平成29年度に協定を締結し、名簿情報の提供を始めたところであり、今後、地域での取組活動の情報収集、研究を行いながら未締結地域との協議を重ね、更に協定の締結を進めていく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 地域における災害時要援護者支援ネットワーク構築の推進には、災害時要援護者支援について広く周知を図るとともに、地域支援組織に対し支援体制づくりへの働きかけを継続的に行うことが必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	災害時要援護者支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00336				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00336
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「向こう3軒両隣り」という近所付き合いを大切にすることがありますが、日頃から地域でのつながりを大切にすることや、いざというときに助けあえる信頼関係を築いていくことが、災害時要援護者事業には必要不可欠です。このような考え方のもと、地域では支援者を募る活動や地域独自の防災訓練の実施など様々な取組を通じて災害時要援護者への支援を実践しています。また、より現実性、実用性の高い名簿を作成するためには、一定のスパンでのシステム改修は必要不可欠です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性:東日本大震災や熊本地震等、大規模災害が近年発生しており、市民の不安が増すと同時に災害時対応への関心が高まっていると考えられます。また、災害発生後の避難所生活において、特別な配慮を必要とする要援護者にとっては、福祉避難所の整備についても必要性が認識されているところであり、本事業の実施意義はあるものと考えられます。</p> <p>(5)持続可能性:平成29年度に災害時要援護者名簿のシステム改修を行ったため、一時的に事業費が増加したものです。</p> <p>【今後について】災害発生時における要援護者への支援が適切かつ円滑に実施できるよう、避難支援体制の整備や地域における要援護者支援ネットワークの構築が重要であり、関連部局と連携を図りながら取り組んでいく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時22分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00340	ふれあい昼食会事業補助事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実							
予算事業	10269	01	03	01	03	03	01	01	ふれあい昼食会事業補助事業（老人福祉費）
所属長	新戸 明宏			担当者（内線）小林（内線2512）					
根拠法令等	吹田市ふれあい昼食会事業補助金交付要領								
事業開始年度	平成5年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	組織名称の変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	(福)吹田市社会福祉協議会		
目標	ひとり暮らしの高齢者を対象にしたふれあい昼食会を実施した地区福祉委員会に対し、一定以上開催したものについて(福)吹田市社会福祉協議会を通じて助成することで、ふれあい昼食会事業の内容充実を図ります。		
結果	市内各地域でふれあい昼食会の活動が促進されることで地域福祉の推進が図られます。		
事業概要	市内にある33地区福祉委員会がひとり暮らしの高齢者を対象に実施しているふれあい昼食会事業のうち、年5回以上の実施分について(福)吹田市社会福祉協議会を通じて参加者1名あたり750円を限度として補助金を交付しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
■ 補助金・負担金	交付先①	(福)吹田市社会福祉協議会	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,750	3,119	3,750	3,518	3,750
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	4,567	3,909	4,556	4,324	4,545
特定財源(C)	166	166	166	166	226
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	166	166	166	166	226
市負担(D)	4,401	3,743	4,390	4,158	4,319
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,401	3,743	4,390	4,158	4,319
財源計(C+D)	4,567	3,909	4,556	4,324	4,545

所属	福祉総務課
事務事業番号	00340

2頁
平成30年 6月 6日
15時22分23秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ふれあい屋食会高齢者参加者数(5回目以降分)	人	目標値	5,000.00	5,000.00	5,000.00
			実績値	3,975.00	4,451.00	
			達成度(%)	79.50	89.00	
目標値の積算方法	予算積算根拠の参加者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.98	0.97	
			一般財源(千円)	0.94	0.93	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 予算の範囲で対象者を限定して実施しているため、事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 参加者数は年々増加する傾向にあります。</p> <p>【今後の方向性】 事業費が適切であり指標数値も向上しているため、継続することが妥当です。</p>

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	ふれあい昼食会事業補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00340				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00340
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

ふれあい昼食会は、地域のひとり暮らしの高齢者が孤立しないよう、地域福祉活動の一環として実施されています。高齢者が昼食会に参加することで、顔の見える関係が築かれ、地域での見守り活動につながる事業です。本事業の推進によりふれあい昼食会の内容を充実させることは、地域福祉の向上にもつながるため、さらなる高齢化が見込まれる地域社会にとっては必要不可欠です。

また、地域において本事業を推進する(福)吹田市社会福祉協議会は社会福祉法に基づいて設置されており、本市内の各地域における地域福祉活動推進において中核的な役割を果たしています。本市としてその活動を支援することはきわめて重要であるため、今後も引き続き同事業を推進します。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者の増加等により、近年では年間の参加者数がのべ15,000人程度で推移しており、地域における需要は高いといえます。</p> <p>また、単身高齢者だけではなく高齢者世帯の参加についての要望も多く、今後、支援策の検討が見込まれます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時22分51秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00341	災害救援活動補助事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり		
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実		
予算事業	10473	01	03	04
所属長	新戸 明宏	01	02	01
根拠法令等	吹田市地域福祉推進活動補助金等交付要領			
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	補助対象活動の追加			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市赤十字奉仕団		
目標	災害救援事業に要する経費に対して補助金を交付し、事業を支援します。		
結果	災害救援事業の推進が図られます。		
事業概要	吹田市赤十字奉仕団では火災、風水害、地震その他の被災者に支給するため、毎年20万円程度の災害見舞用毛布等の災害用備蓄品を購入しています。本事業では毛布等の購入費用の一部を補助しています。購入した毛布等については市で保管し、災害等が発生した際に被災者に配布します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		吹田市赤十字奉仕団	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	160	160	160	160	160
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	1,794	1,740	1,771	1,771	1,749
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,794	1,740	1,771	1,771	1,749
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,794	1,740	1,771	1,771	1,749
財源計(C+D)	1,794	1,740	1,771	1,771	1,749

所属	福祉総務課
事務事業番号	00341

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	火災、風水害、地震等で被災した世帯に対し、吹田市赤十字奉仕団が配付した毛布の配付世帯数	世帯	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	6.00	20.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	火災等の災害発生時に支援を行うものであるため、目標値を設定することができません。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	290.00	88.55	
			一般財源(千円)	290.00	88.55	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 火災等で被災した世帯に対し毛布等の生活用品を災害見舞品として配付し、被災者への支援を行いました。	達成状況 災害発生時に支援を行うことにより被災者の負担を軽減することができ、災害救援活動の重要な役割を果たしているといえます。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費の評価】 火災等の被災者などに見舞品を配布することが目的で対象・サービスともに限定的であるため、事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 災害発生時の対応であるため、指標は設定できませんが、対応が必要な事案には全件対応しています。</p> <p>【今後の方向性】 事業費と事業の目的が適切であり、継続することが妥当です。</p>

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	災害救援活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00341				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00341
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市赤十字奉仕団の目的は、明るく住みよい地域社会をつくる活動を推進することにあります。当該補助金は火災等の災害が発生した際に被災者に配付している災害見舞品(毛布等)の経費を対象にしていますが、この災害見舞品は、火災、風水害等で公民館等の施設に避難した被災者に対し配付しているもので、被災者救援活動には欠かすことのできないものです。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域福祉推進事業積立事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新井 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正内容	設置基金の追加による改正										
(2) 直近の改正	平成27年度												
(3) 根拠法令等	吹田市積立基金条例												
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
	一部にチェックした場合はその説明												
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	網節	10						
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他								
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	指定寄附金の地域福祉基金への積立										
	結果(どのような効果が得られるのか)	地域福祉基金積立額の増加											
(7) 事業概要	市民等からの寄附金を地域福祉基金へ積み立て、基金の利子を地域福祉サービス推進事業へ活用します。地域福祉基金を活用し市が普通財産として取得した土地を、民間事業者に定期借地契約で賃貸することに伴う貸付料収入相当額についても、同基金へ積み立てます。												
(8) H28事業別予算コード	会計		款		項		目		大事業		中事業		小事業
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)						
			予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)						
	事業費(A)		4,468	113	5,791	5,463	9,927						
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	817	790	806	806						
	総事業費(A+B)		5,285	903	6,597	6,269	10,722						
	(内訳)	特定財源(C)		0	113	0	168						
		国		0	0	0	0						
		府		0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		5,285	790	6,597	8,101						
地方債		0	0	0	0								
その他		0	0	0	0								
一般財源		5,285	790	6,597	8,101	10,722							
財源計(C+D)		5,285	903	6,597	6,269	10,722							
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施												
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①										
			②										
	主な委託内容												
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
		②											
		③											
<input type="checkbox"/> その他	内容												

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	(2) 成果指標	①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	
実績値 (単位:)				0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00
	実績値 (単位:)			0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
実績値 (単位:)			0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
①	活動内容	指定寄附金の地域福祉基金への積み立て。	目標	市民等からの指定寄附金を地域福祉基金へ積み立て、その利息を活用することにより、地域福祉サービスを推進します。		
	②	成果内容	地域福祉基金へ積み立てを行うことによる地域福祉サービスの推進。	達成状況	地域福祉の向上。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切です。(市民等からの指定寄附金を適正に地域福祉基金へ積み立てています。また、地域福祉基金を活用し市が普通財産として取得した土地を、民間事業者に定期借地契約で賃貸することに伴う貸付料収入相当額についても同基金へ積み立てています。) 【今後の方向性】 市民等からの指定寄附金と土地貸付料収入相当額を地域福祉基金へ適正に積み立てます。				

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	地域福祉推進事業積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01489				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	01489
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

基金を運用し、その利益を地域福祉に推進する事業に活用しており、本事業は適正に実施されています。また、各視点からの評価の妥当性、有効性、効率性の点で評価することが難しいため、評価になじまないと考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(3)効率性 効率的に地域福祉基金に積立て、運用益は地域福祉サービスの推進に関する事業に活用されています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時23分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01572	地域福祉推進活動補助事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり		
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実		
予算事業	11771	01	03	01
所属長	新戸 明宏	01	14	01
根拠法令等	吹田市地域福祉推進活動補助金等交付要領			
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	補助対象活動の追加			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	(福) 吹田市社会福祉協議会		
目標	(福) 社会福祉協議会は、社会福祉法に規定された地域福祉の推進を目的とする団体です。(福) 吹田市社会福祉協議会が行う地域福祉活動のための経費に対し補助金を交付し安定した事業実施を支援します。		
結果	地区福祉委員会活動などが活発に行われることにより、地域福祉の増進が図られます。		
事業概要	(福) 吹田市社会福祉協議会が行う地域福祉活動に対し補助を行うことにより、地域福祉活動推進のための組織強化、世代間交流等の小地域ネットワーク推進活動の活性化を図ります。財源の一部に大阪府地域福祉・子育て交付金を充てています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		(福) 吹田市社会福祉協議会	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	62,480	63,462	64,009	60,889	63,129
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	66,565	67,412	68,035	64,915	67,102
特定財源(C)	6,817	7,379	7,416	0	7,235
国	0	0	0	0	0
府	6,817	7,379	7,416	0	7,235
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	59,748	60,033	60,619	64,915	59,867
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	59,748	60,033	60,619	64,915	59,867
財源計(C+D)	66,565	67,412	68,035	64,915	67,102

所属	福祉総務課
事務事業番号	01572

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	グループ援助活動開催件数	件	目標値	1,700.00	1,700.00	2,100.00
			実績値	1,671.00	2,007.00	
			達成度(%)	98.30	118.10	
目標値の積算方法	前年度の実績を考慮し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	40.34	32.34	
			一般財源(千円)	35.93	32.34	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	活動実施地区割合	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	100.00	100.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	全ての地区で実施	単位当たりコスト	総事業費(千円)	674.12	649.15	
			一般財源(千円)	600.33	649.15	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 地域福祉の推進に係る取組に必要な人員や小地域ネットワーク活動に係る費用などを精査しているため、事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 小地域ネットワーク活動(グループ援助活動)は全地区で実施しており、開催件数も増加しているため事業成果は達成されています。</p> <p>【今後の方向性】 事業費と事業の目的が適切であり、継続することが妥当です。</p>

事務事業分析シート

2019/6/2015.09

所属名	福祉総務課	事業名	地域福祉推進活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01572				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	01572
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業では市内各地域において展開されている小地域ネットワーク活動や各地区福祉委員会の活動を支援するものであり、市内の各地域社会における住民同士のつながりづくりに大きく貢献しています。本事業の補助金交付対象団体である(福)吹田市社会福祉協議会は各地区福祉委員などの地域住民に対し自主的に地域福祉活動を推進することを呼びかけており、それぞれの地域ごとの特性を生かした活動の促進に寄与しています。</p> <p>同協議会は社会福祉法に基づいて設置されており、本市内の各地域における地域福祉活動推進において中核的な役割を果たしています。行政としてその活動を支援することは非常に重要であるため、今後も引き続き同事業を推進してまいります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時24分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007010100	福祉総務課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01730	福祉活動補助事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実							
予算事業	11772	01	03	01	01	15	01	01	福祉活動補助事業（社会福祉総務費）
所属長	新戸 明宏		担当者（内線）小林（2512）						
根拠法令等	吹田市地域福祉推進活動補助金等交付要領								
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	補助対象活動の追加								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市民生・児童委員協議会、吹田地区保護司会、吹田市献血推進協議会、吹田市赤十字奉仕団、吹田地区更生保護女性会		
目標	各団体の活動に要する経費に対し補助金を支出し、福祉に関する活動を支援します。		
結果	各団体が実施する福祉に関する活動を通じ、地域福祉の増進が図られます。		
事業概要	地域福祉推進活動補助金等交付要領にある対象経費について補助することで、各団体の活動を活発化し、地域福祉の増進を図ります。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		吹田市民生・児童委員協議会	
交付先②		吹田地区保護司会、吹田地区更生保護女性会	
<input type="checkbox"/> その他	交付先③	吹田市献血推進協議会、吹田市赤十字奉仕団	
	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,595	12,595	12,595	12,595	12,595
人件費職員数(人)	2.70	2.50	2.50	2.50	2.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	22,059	19,750	20,130	20,130	21,452
総事業費(A+B)	34,654	32,345	32,725	32,725	34,047
特定財源(C)	456	437	462	445	462
国	0	0	0	0	0
府	456	437	462	445	462
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	34,198	31,908	32,263	32,280	33,585
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	34,198	31,908	32,263	32,280	33,585
財源計(C+D)	34,654	32,345	32,725	32,725	34,047

所属	福祉総務課
事務事業番号	01730

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	民生委員・児童委員新任研修参加率	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	96.00	94.00	
			達成度(%)	96.00	94.00	
目標値の積算方法	全員が研修会に参加	単位当たりコスト	総事業費(千円)	336.93	348.14	
			一般財源(千円)	332.38	343.40	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域献血実施回数(採血車の配車台数)	台	目標値	120.00	140.00	140.00
			実績値	135.00	138.00	
			達成度(%)	112.50	98.60	
目標値の積算方法	35地域×4回 ※定例、キャンペーンを含む	単位当たりコスト	総事業費(千円)	239.59	237.14	
			一般財源(千円)	236.36	233.91	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	献血受付者数(のべ人数)	人	目標値	7,200.00	7,000.00	7,000.00
			実績値	5,999.00	5,540.00	
			達成度(%)	83.30	79.10	
目標値の積算方法	採血車140台×50人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.39	5.91	
			一般財源(千円)	5.32	5.83	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 吹田市地域福祉推進活動補助金等交付要領で補助限度額を定め、各団体の活動費の一部を補助しているため、事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 活動指標等の実績を踏まえると、妥当な成果を上げています。</p> <p>【今後の方向性】 事業費と事業の目的が適切であり、継続することが妥当です。</p>

事務事業分析シート

2018/6/2015:10

所属名	福祉総務課	事業名	福祉活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	1730				

1. 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉総務課	事務事業番号	1730
-----	-------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市民生・児童委員協議会、吹田地区保護司会、吹田市献血推進協議会、吹田市赤十字奉仕団、吹田地区更生保護女性会は、それぞれの活動において、地域住民の福祉の増進を目的にしています。各団体が事業目標を達成することにより、地域福祉全体の増進につながることから、本事業を通じて各団体の活動が効果的に実施されるよう支援することが重要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--